

インターネット・ガバナンス・フォーラム

国、地域、より狭い地域、及び若者(ユース) の IGF への取組み



インターネット・ガバナンス・フォーラム (IGF) は、インターネット・ガバナンスに関わる公共政策課題の議論を促進する、地球規模でのマルチステークホルダーによるプラットフォームである。IGF は、国連情報社会サミット (WSIS) の最も重要な成果のひとつであり、同サミットは 2006 年 7 月 18 日、国連事務総長に対し、インターネット・ガバナンス課題を議論するための、多国間で、マルチステークホルダーを網羅し、民主的かつ透明性の高いプラットフォームとして、IGF を正式に招集するよう要請した。

制度的には、IGF は国連経済社会局 (UN DESA) が管理する IGF 事務局によって支えられており、IGF 年次会合の議事は、国連事務総長によって毎年任命される IGF のマルチステークホルダー諮問グループ (MAG) からの助言に基づいて策定される。

これまでに18回の IGF 年次総会が各国政府によって開催されてきた¹。2024年の IGF 年次総会は、サウジアラビア政府が2024年12月15日から19日までリヤドにおいて開催する予定である²。

IGF は、一連のプロセスである

IGF は、年次総会とそれまでの期間中の活動を含む 1 年間のプロセスとして機能する。毎年、IGF 年次総会には世界中からステークホルダーが集まり、喫緊のインターネット・ガバナンス



ベルリンで開催された IGF 2019:
国連事務総長とドイツ首相によるオープニング

の課題を議論する。参加者は、政府、政府間組織、民間セクター、技術者コミュニティ、及び市民社会を代表している。会議の議事は、関心を持つすべてのステークホルダーの積極的な参加を通じて、対話的(双方向的)に運営される。

IGF の年次会合の間の期間に、IGF のコミュニティは幾つもの実質的な活動を行い、次の IGF 年次会合でその活動の内容を議論する。これらは通常、

¹ <https://www.intgovforum.org/multilingual/content/funding>

² <https://www.intgovforum.org/multilingual/>

個別のインターネット・ガバナンスの課題に焦点を当て、ベストプラクティスフォーラム、ダイナミックコアリション、及びポリシーネットワークなどの活動を含んでいる。また、これらの活動は、コミュニティとの積極的な協議を通じて展開され、誰もが貢献できるように招待されている。

国、地域、より狭い地域、及びユースの IGF への取組み



この報告書においては以下を述べている

- > NRI とは何か？
- > NRI は何を行うか？
- > NRI になぜ関わるべきか
- > NRI とどう関わるのか？

長年にわたり、IGF は、さまざまな国や地域のマルチステークホルダーからなるチームを支援しており、IGF のプロセスを反映した、国や地域における IGF の活動を立ち上げてきた。これらの国・地域における取組み（NRIs）は、それぞれのコミュニティにとって最も関連性の高いインターネット政策課題について、対話と協力を促進することに重点を置いている。NRI は組織的かつ独立的でありながら、IGF の主要原則に従って活動している。つまり、IGF 類似の年次会合の計画や企画、更にはすべての年間の活動は、非営利目的のマルチステークホルダーからなるチームによって、オープンで、協議をもとにボトムアップの方式で実施されている。個々の NRI の承認、及び NRI の共同作業と協力は、IGF 事務局が行う。

現在までに、168 以上の NRI が IGF 事務局によって承認されている。

国としての取組み

地域としての取組み

ユースによる取組み

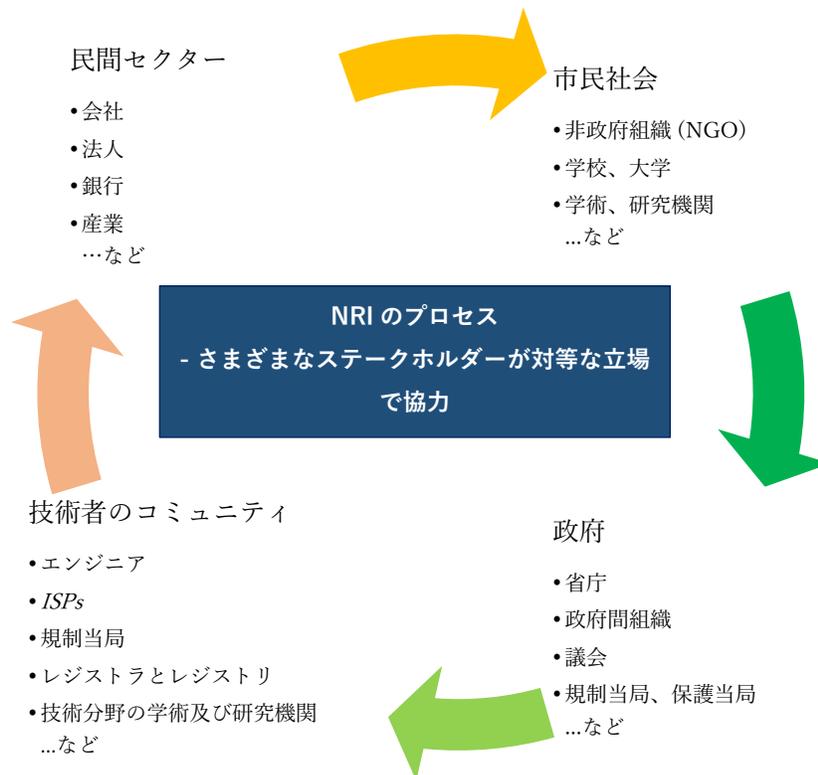
NRI は、政府、国際機関、政府間組織、市民社会、民間セクター、技術者コミュニティなどに跨った、あらゆる立場のステークホルダーが参加できるオープンで包摂的なプラットフォームを構築する。

社会のより広いコミュニティからの公開の助言を通じて、インターネット・ガバナンスに関する優先的な課題を浮き彫りにして、それらを確実に議題に反映させる。

平均すると、国ごとの IGF 会合では年間 150 人前後のステークホルダーが参加する一方、より狭い地域、地域の IGF 会合では参加者は 300 人を超える。

NRI に関連のあるステークホルダーとは誰か？

さまざまなステークホルダー・グループや専門分野から、国や地域の個人や団体が、NRI に積極的に携わっている。その関わり方は多様であり、NRI のマルチステークホルダー組織委員会の正式なメンバーである場合もあれば、セッションのオーガナイザー、モデレーター、報告者、専門家スピーカー等として NRI が主導するイベントに活発に参加する場合もある。一例として、具体的には以下のようなステークホルダーの参加がある：



NRI に携わる理由

インターネットはあらゆるところに浸透している。そのサービスやツールはますます人々の生活に溶け込み、その権利や自由に関わっている。さらに、世界経済への影響も日々拡大している。これにインターネットの複雑な性質が加わり、そのガバナンスには、技術的な運用を理解する人々から政策的な側面を理解する人々まで、あらゆる人々の関与が必要となる。

NRI のプロセスに携わることで、ステークホルダーには以下のことが期待できる：

- ✓ 政府、国際機関、政府間組織、市民社会、技術者コミュニティ、民間セクターなど、インターネット・ガバナンスにおけるさまざまな背景を持つ専門家と出会う。
- ✓ 各々のコミュニティのデジタル政策に関する課題や要望を理解する。
- ✓ 他国の良い政策や悪い経験から学び、地域のエコシステムを改善する。
- ✓ 現状を伝え、話し合うことを通じて人々との信頼関係を築く。

NRI と議会：NRI の優れた実践から学ぶこと

Kenya IGF Week KENYA INTERNET GOVERNANCE FORUM

ケニア IGF のマルチステークホルダー組織委員会は、さまざまな背景を持つステークホルダーで構成され、インターネットとその技術的、政策的側面、そして社会的、文化的、経済的、法的な意味合いに関する包括的な知識の交差点を示している。インターネットのガバナンスの可能性を検討するためには、あらゆる側面を理解することが重要である。そのため、立法機関の中には、インターネットのガバナンスについて議論し、決定しようとする際に、こうした知識を有する者に助言を求めることもある。例えば、ケニアの上院と下院議会は、ケニア国内の IGF と緊密に協力している。

この協力は、議会が以下のようなことを行うのに役立つ：

- ケニアの人々にとってのインターネット・ガバナンスの優先事項を理解する。
- ケニア IGF を通じて国民社会に働きかけ、国民に対する説明責任を果たす。
- インターネット・ガバナンスの分野について、さまざまな側面から学ぶ。
- 法案が正式に採決される前に、その法案をテストすることにより、可能性のある結果を正確にモデル化し、潜在的な弊害を軽減する。

ケニア IGF が毎年開催する、国内のさまざまな地域から集まったすべてのステークホルダーによるディスカッションに積極的に参加することで、議会のインターネット・ガバナ

スの議論は示唆を受け、情報を得ることができる。例えば、データ保護法が漸く制定されたのは、8年以上にわたる継続的な意見交換とサイバーセキュリティ事件に遭遇した後であり、とりわけ国会議員とケニア IGF、およびインターネット・ガバナンスに関し IGF が運営するスクール(SIG)との継続的で実質的な意見交換のおかげである。

SEEDIG 南東ヨーロッパ地域の IGF (SEEDIG) は、この地域の議会と協力の形態を産み出してきた。例えば、SEEDIG 2018 会合は、スロベニア国民議会議長（会合のホスト国）の後援の下で開催された。この会合により、SEEDIG は南東欧協力プロセスの議員レベルの活動にも貢献することができた。2019 年、SEEDIG がルーマニアで年次総会を開催した際、ルーマニアの 2 つの議会（上院と下院）の ICT 議会専門委員会が公式パートナーとして機能した。このパートナー関係により、二つの目的が達成された：

- SEEDIG 活動において議会代表の参加を確保する。
- IGF プロセスおよびマルチステークホルダー形態のインターネット・ガバナンスの、議会内での認知度を高める。

IGF 年次会合における議会関係者のセッション (議会トラック)

IGF 年次会合では、世界各地から国会議員が一堂に会し、相互に関心のあるテーマについて意見交換を行う。

国や地域の IGF への国会議員の参加により、IGF のプロセスを理解し、実質的な問題について、国や地域レベルのマルチステークホルダー・コミュニティからの具体的なインプットをグローバル・レベルに引き上げることが大いに期待できる。

IGF における議会トラックは、通常、国連経済社会局（UN DESA）と IGF 事務局、列国議会同盟（IPU）、開催国が協力して組織する。



オンライン形式での IGF 2020 議会セッション

2030 Agenda for Sustainable Development は、医療やエネルギーなど多様な分野での科学技術革新がそうであると同様に、人類の進歩を加速し、デジタル・デバイドを解消し、知識社会を発展させるためには、情報通信技術とグローバルな相互接続が重要である可能性を強調している³。この可能性は、優れたデジタル政策に依存しており、これは国、地域、ユースの IGF プロセスにおける優先事項である。そして、持続可能な開発目標(SDGs)と持続可能な開発を達成する過程において、各国議会、政府や公的機関の役割は不可欠である。私たちの世界を長期的に変革するというこの高い目標が、NRI のマルチステークホルダー・プロセスに議会や政府が積極的に関与する理由なのである。

連絡先

IGF 事務局にお問い合わせのうえ、NRI と IGF への参加を検討ください。



igf@un.org



www.intgovforum.org



<https://mobile.twitter.com/intgovforum>



<https://www.facebook.com/IntGovForum>



<https://www.instagram.com/intgovforum/>



<https://www.youtube.com/user/igf>

³ <https://www.un.org/sustainabledevelopment/development-agenda/>